

The background features a large, stylized musical staff with various notes, including quarter, eighth, and sixteenth notes, as well as rests and a treble clef. The staff is curved and occupies most of the page. The title and subtitle are overlaid on this background.

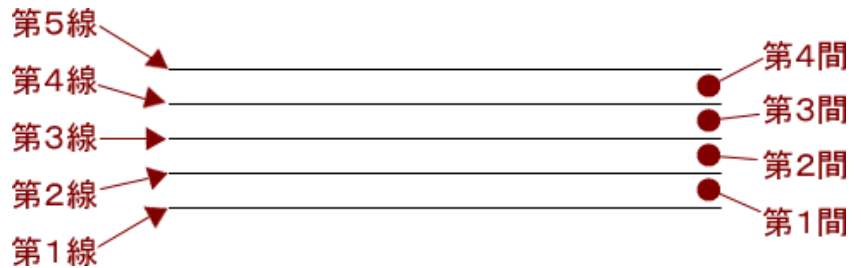
# 音楽理論 1

～楽譜を理解しよう～

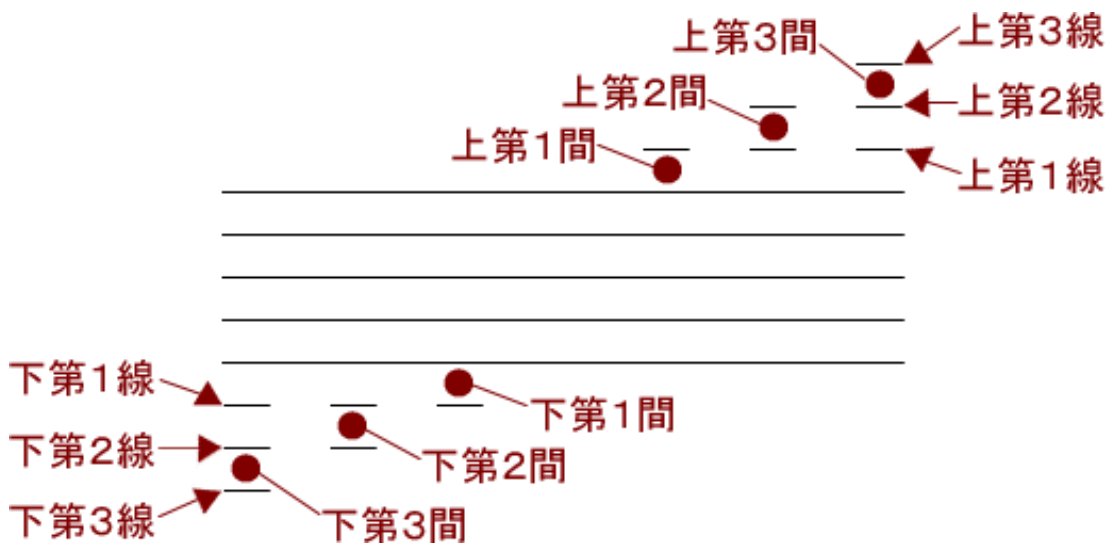
Miyama Yuki

# 五線と加線

五線(ごせん)は音符を書き込むための線です。文字通り五本の線から出来ています。



下から順に第1線(だいいっせん)、第2線、第3線、第4線、第5線と言います。線と線の間にも名前があり、下から順に第1間(だいいっかん)、第2間、第3間、第4間、第5間と言います。音符を書き込む場所は線の上か間になり、書き込んだ位置が高ければ高い音、低ければ低い音になります。

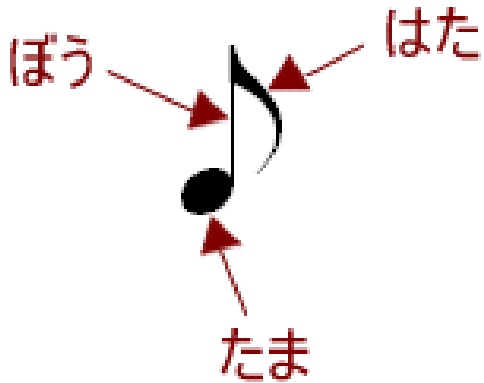


上の五線譜のように、五線からはみ出してしまう高い音や低い音には加線(かせん)をつけて表します。

五線譜と同じように名前がありますが、上と下がついただけなので覚えやすいと思います。下第1線(ただだいいっせん)、下第2線、下第3線、と低くなるごとに数字も増えていきます。同じように、上第1線(うへだいいっせん)、上第2線、上第3線、と高くなるにつれ数字も増えます。

# 音符

## 音符のパーツ名



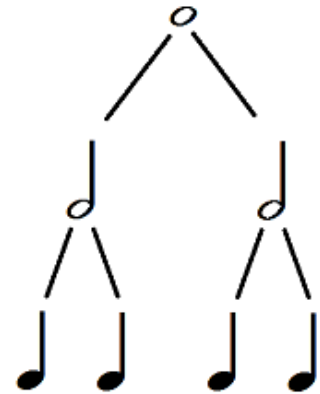
音符は音の高さや長さを表すための記号のひとつです。

## 全音符・二分音符・四分音符

○ . . . 全音符

♪ . . . 二分音符

♩ . . . 四分音符



全音符は二分音符二つ分です。○ = ♪ ♪

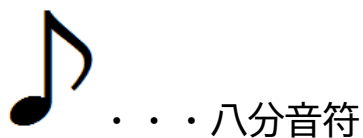
全音符は四分音符四つ分です。○ = ♩ ♩ ♩ ♩

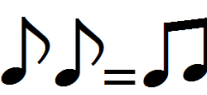
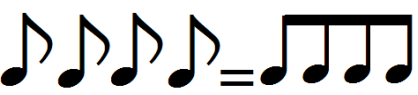
二分音符は四分音符二つ分です。♪ = ♩ ♩

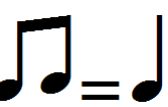
※基本的に一小節は四拍なので、  
全音符は、全部を占めているから『全音符』  
二分音符は、全音符の二分の一  
四分音符は、全音符の四分の一  
と覚えると覚えやすいです。

# 八分音符

八分音符は、全音符の八分の一です。



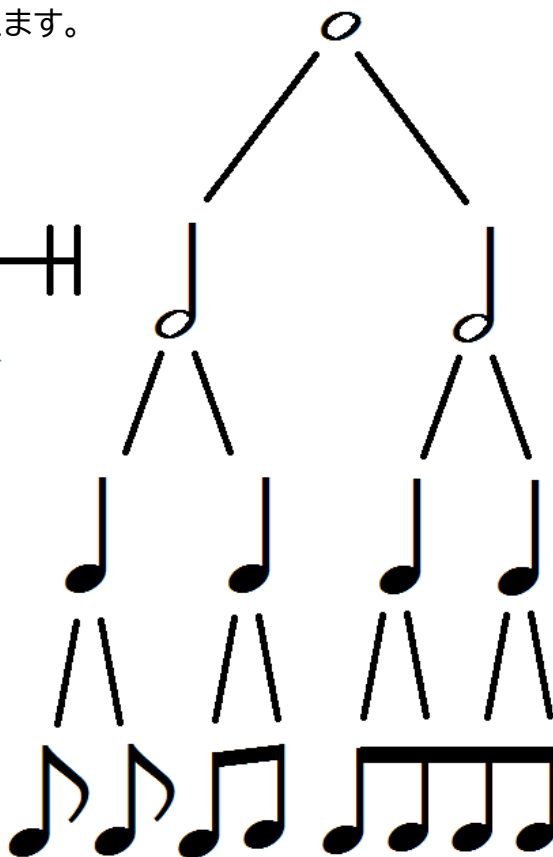
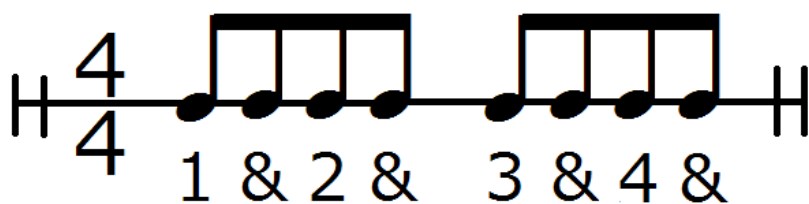
八分音符は、つなげることが出来ます。 

四分音符は八分音符二つ分です。

二分音符は八分音符四つ分です。

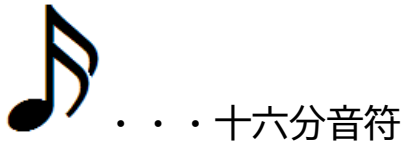
全音符は八分音符八つ分です。

$\frac{4}{4}$  (四分の四拍子)の時は“1 & 2 & 3 & 4 &” と数えます。




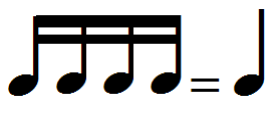
# 十六分音符


八分音符は、全音符の八分の一です。



十六分音符は、つなげることが出来ます。 

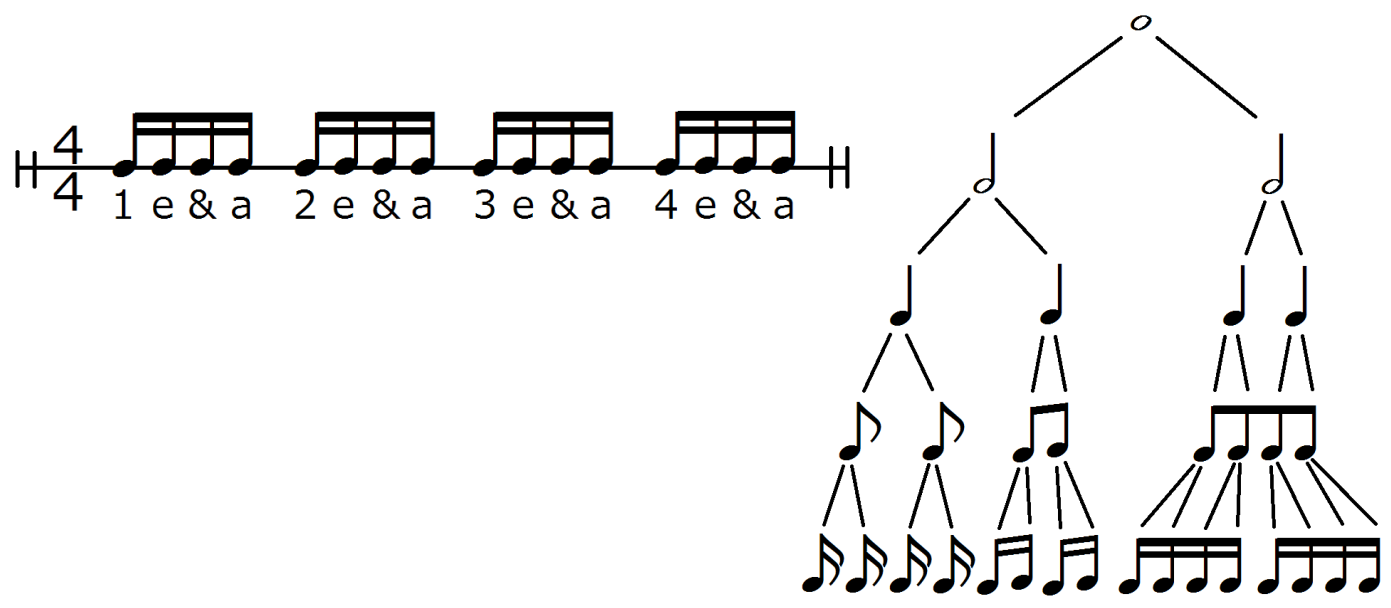
八分音符は十六分音符二つ分です。 

四分音符は十六分音符四つ分です。 

二分音符は十六分音符八つ分です。 








全音符は十六分音符十六つ分です。 

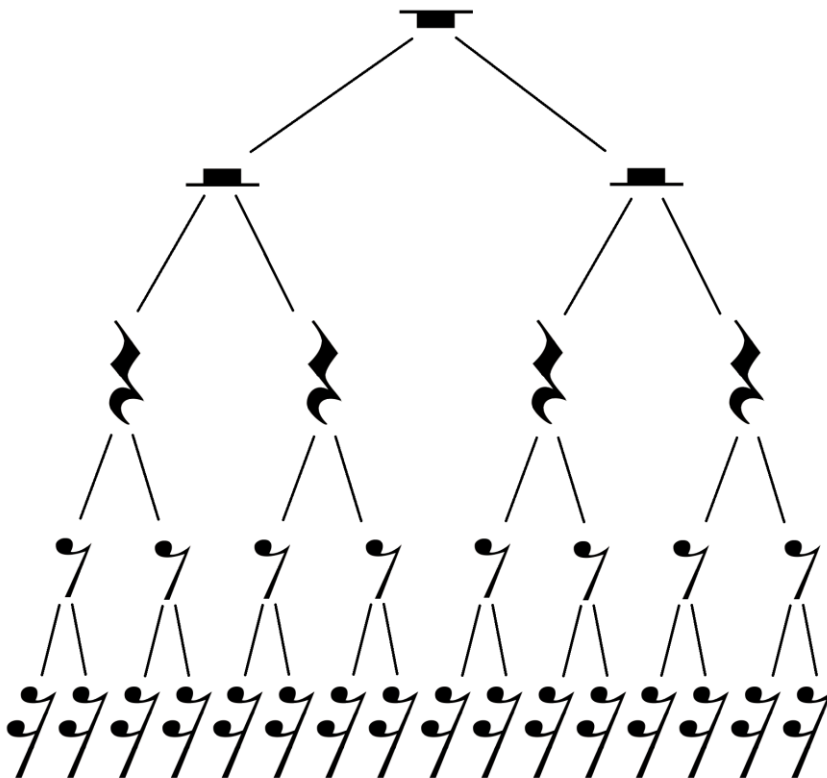
$\frac{4}{4}$  (四分の四拍子)の時は“1e&a 2e&a 3e&a 4e&a”と数えます。



# 休符

音符が音の長さや高さを表すのに対して、休みの長さを表すのが休符になります。  
音符の長さが理解できていれば、音が鳴っているか鳴っていないかの違いだけなので問題ないでしょう。

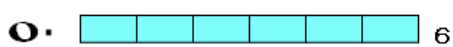
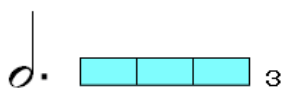
 . . . 全休符	
 . . . 二分休符	
 . . . 四分休符	
 . . . 八分休符	
 . . . 十六分休符	





# 付点音符



付点音符とは音符のすぐ右に小さな黒い点が付いている音符のことです。付点音符になると、その音符の半分の長さがプラスされます。

付点全音符	
付点全休符	
付点2分音符	
付点2分休符	
付点4分音符	
付点4分休符	
付点8分音符	
付点8分休符	



# 音符と休符のまとめ

全音符・休符	
	



2分音符・休符	
	

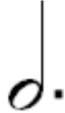

4分音符・休符	
	

8分音符・休符	
	

16分音符・休符	
	



32分音符・休符	
	

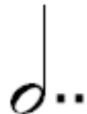

付点全音符・休符	
	


付点2分音符・休符	
	



付点4分音符・休符	
	

付点8分音符・休符	
	

複付点全音符・休符	
	

複付点2分音符・休符	
	

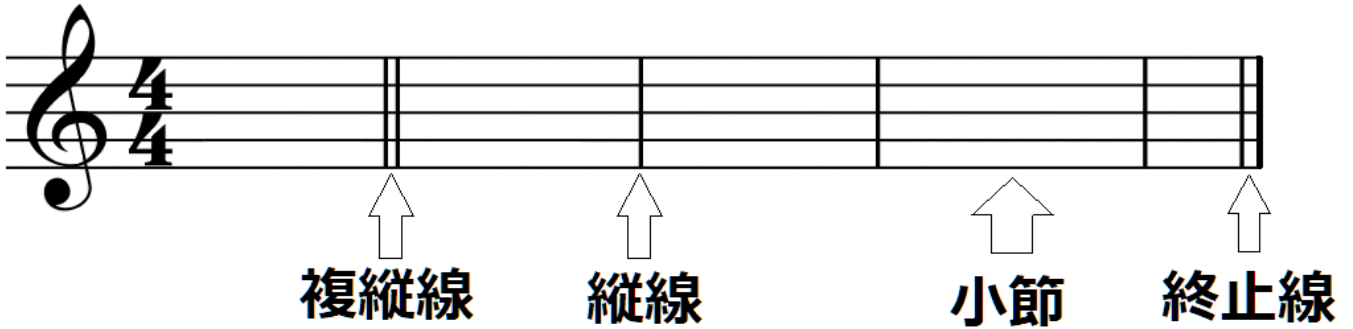
複付点4分音符・休符	
	

複付点8分音符・休符	
	



# 小節線

五線譜をより分かりやすく読むために小節線(しょうせつせん)は使われます。



1小節ずつを区切るたて線のことを縦線(じゅうせん)と言います。

縦線と縦線の間を小節と言います。

ひと段落する時に使われる線を複縦線(ふくじゅうせん)と言います。

曲の終わりに書かれる線を終止線(しゅうしせん)と言います。

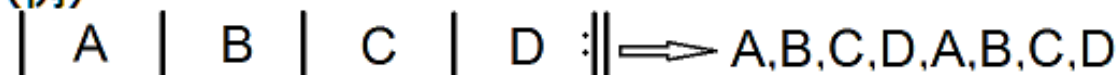
# 繰り返し記号

## リピート記号



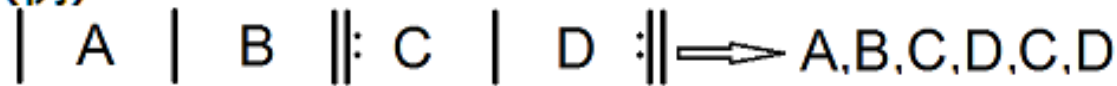
曲中には何度か同じフレーズが続く場合があります。その度に音符を書いているのは大変ですし、演奏者も読みづらくなってしまいます。そこで繰り返し記号を使うと、同じ譜面を書く手間が省け、演奏者も読みやすい譜面に仕上がります。

(例)



上の譜面を見てみましょう。4小節目の終わりにある小節線がよく見られる繰り返し記号のひとつです。演奏の順番は『A→B→C→D→A→B→C→D』になります。永遠に繰り返すのではなく、1度繰り返したら終わりになります。

(例)



何小節かをリピート記号ではさんだ譜面もあります。上の譜面は3小節目からと4小節目をリピート記号ではさんだ譜面です。演奏の順番は『A→B→C→D→C→D』になります。

## カッコのリピート記号

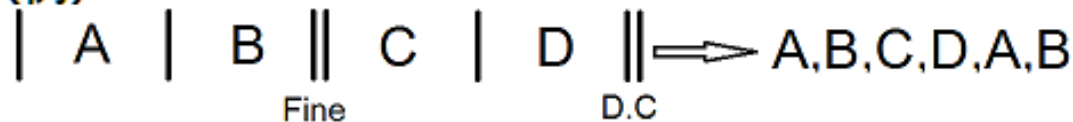
(例)



上の譜面のようなカッコのリピート記号もよく使われます。繰り返したい最後の小節が違うときに、カッコ1、カッコ2としておけばカッコの繰り返しになります。演奏の順番は『A→B→C→D→A→B→E→F』となります。

## それ以外の繰り返し記号

(例)



D.C.(ダ・カーポ)も繰り返し記号のひとつで「曲の頭に戻りなさい」という意味です。D.C.まで進んだら小節の頭に戻って、また繰り返し演奏します。2小節目の終わりにある Fine(フィーネ)はここで演奏が終わりという意味です。1回目は通り過ぎて D.C.で戻ってきた2回目で演奏が終わります。なので、演奏の順番は『A→B→C→D→A→B』になります。

(例)



D.S.(ダル・セーニョ)も繰り返し記号です。D.S.まで進んだらセーニョマーク(%)まで戻ります。

D.C.やD.S.の繰り返し記号と合わせてよく使われるのが Coda(コーダ)です。1回目の to は通り過ぎて、D.S.でセーニョマークに戻ったあと to から Coda へ飛びます。演奏の順番は『A→B→C→D→E→B→C→F→G』になります。

# 拍子記号

各小節に入る音符の種類や数を決めているのが拍子記号(ひょうしきごう)です。音部記号のすぐ右に分数で書いてある数字が拍子記号になります。分母は1拍になる音符の種類です。その上の分子は1小節に入る音符の数を表しています。

(例)

$\frac{4}{4}$

← 小節一つにある拍数を表しています。

← 書かれている数字の音符【(例)4=四分音符】が一拍となります。

$\frac{C}{4}$

⇒ 四分音符が一拍となり、一小節は四拍となります。

$\frac{C}{2}$

⇒ 四分音符が一拍となり、一小節は二拍となります。

$\frac{3}{4}$

⇒ 四分音符が一拍となり、一小節は三拍となります。

$\frac{6}{8}$

⇒ 八分音符が一拍となり、一小節は六拍となります。

# タイとスラー



タイとは同じ高さの音符を結ぶ記号になります。結ばれた後の音符は音を鳴らさずに、前の音をそのまま続けて鳴らします。



スラーとは違う高さの音符を結ぶ記号になります。間に音符が入ることもあります。

結ばれた後の音符と音符の間はなるべくあけないように(つながっているかのように)演奏します。

## その他の演奏記号

### 小節の繰り返し



前の小節と同じ

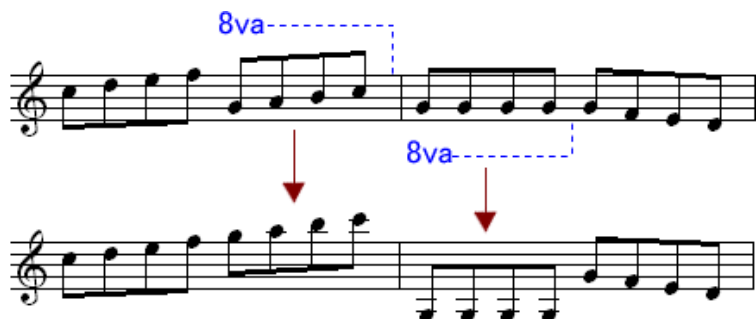


前の2小節と同じ

上の譜面のように、すぐ前の小節と同じことを弾くときに使う記号があります。上段の譜面は前の1小節を反復した譜面です。下段は前の2小節を反復した譜面です。同じようにして4小節と

繰り返すことができます。人によって少し書き方が違ってくると思います。

### オクターブ記号



加線が何本も必要な高い音符や低い音符は読みづらいものです。そういう場合はオクターブ記号(8va)を使って読みやすい譜面にすることができます。

オクターブ記号とは、書かれている音符の1オクターブ上の音、または下の音を演奏します。オクターブが上か下かは、オクターブ記号を五線の上か下につけることで変わります。

## スタaccato

Staccato ⇒ ● ⇒ スタaccatoとは音を短く切って演奏することです。音符の上か下に小さい黒い丸があればスタaccatoの記号になります。



## テヌート

Tenuto ⇒ — ⇒ スタaccatoに対して、音の長さを十分に伸ばして演奏するのテヌートです。音符の上か下に黒い線が引かれてあればテヌートの記号です。テヌートとは音の長さを十分に伸ばして演奏するという意味です。



## フェルマータ

Fermata ⇒ ◡ ⇒ フェルマータとは適当な長さに伸ばしなさいという意味です。または、これで演奏は終わりという意味の終止記号としても使われます。どちらにせよ、譜面の最後にある記号です。



# 音符の書き方

## 音符の棒の向き

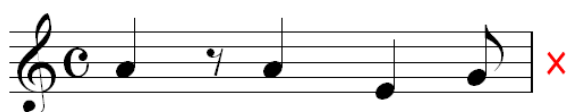


「はた」の付いた同じ音符が連続していると、上段の譜面のように見づらくなってしまいます。そこで、下段のように音符をつなげて見やすくしてやります。つないだ線は少し太めにするとより見やすくなると思います。



譜面を見ていると「ぼう」の向きが上向きの時と下向きの時があります。自分で譜面を書く時などにも迷ってしまうかもしれません。これにも一応きまりがあって、上の譜面のように赤線の第3線以上音が高くなれば「ぼう」は下向きになります。

## タイを使う



2拍分ずつ書く

上の2つの譜面を見比べてください。両方とも音符の長さは同じなのですが、書かれ方が違います。どちらかというとな下の譜面の方が見やすいと思います。タイを使って下の譜面のように1小節内には2拍ずつ収まるような譜面を書くようにしましょう。